

月に一度は森づくり 2019

苫東・和みの森運営協議会では、5月から2月までほぼ月一回のペースで計8回開催し、親子連れを中心とした多くの参加者により、森のお手入れや森遊びを行いました。一例を紹介します。

5月の活動（大工とペンキ塗り）



2019年度最初の活動が、会長あいさつのもとに始まりました。



活動場所としているコンテナ前のウッドデッキが古くなったので、新たに作り、ペンキを塗りました。

7月の活動（ハスカップ狩り）



ハスカップの実を摘んで、早速、ジャムにしました。



木と木の間にハンモックを吊して、ゆらゆらと遊びました。

11月の活動(みんなで薪割りDAY)



あちこちで薪割りが始まります。バキッと割れる瞬間がたまらない！



みんなで割った薪をトラックに積みました。この薪は市内銭湯の燃料になります。

2月の活動（馬般材でクラフト）



森づくりには馬も参加しています。除伐した木を運んでいます。



馬が運んできた木を削り馬という道具で削り、作品を作っていきます。

第70回 北海道植樹祭・育樹祭

～ つなげよう 大切な森 この先へ ～

令和元年10月19日（土）、北海道・林野庁北海道森林管理局・公益社団法人北海道森と緑の会主催による「第70回北海道植樹祭・育樹祭」を開催しました。

当日は、あいにくの雨天でしたが、全道各地から700名が参加して、5樹種の苗木を植樹したほか、アカエゾマツの枝払い（育樹）を行いました。

この「和みの森」では、第44回全国育樹祭のお手入れ行事が行われることが決まっており、大会開催に向け機運が盛り上がりました。

<当日のプログラム>

- アトラクション
 - ・吹奏楽「苫小牧市民吹奏楽団」
 - ・YOSAKOI「夜桜金魚とまこまい JAPAN with 風雪太鼓」
- 式典
- 植樹（アカエゾマツ・シラカンバ・カラマツ、ナナカマド・ヤチダモ）
- 育樹（アカエゾマツ）
- 催事・協賛行事
 - ・ミニテント村 ・月に一度は森づくり

<アトラクション>



苫小牧市民吹奏楽団の演奏により、式典は始まりました。



続いて、地元チームによるよさこいソーランが始まりました。自慢の大旗が風になびいています。

<式典>



主催者代表として北海道の土屋副知事より挨拶を行いました。



苫東・和みの森運営協議会とながめま緑の少年団の子どもたちが「緑の宣言」を行いました。

<植樹>



植樹会場では、約460本の苗木を植栽しました。



シカによる樹木への食害が多い場所のため、植えた木を筒状のシェルターで覆い、被害に備えます。

<育樹>



育樹会場でアカエゾマツの枝打ちを行いました。枯れ枝がびっしりで悪戦苦闘した木もありました。

<ミニテント村>



仮設テント内の木育ひろばでは、子どもたちが木製遊具で楽しく遊びました。